

せとうちちょう 議会だより

第154号

平成26年8月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会

〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



第57回奄美群島市町村議会議員大会が宇検村に於いて開催されました（5月22日）



議員大会にて決議文を朗読する本町の安和弘議長



～真剣な表情で議員大会の審議を行う本町議会議員（宇検村総合体育館）～

永年勤続者（10年以上）として、大島郡町村議会議長会表彰を受けました。
（写真左より池田啓一議員、林健二議員）



自治功労表彰
～在職10年以上～
おめでとうございます
ございます

こんなことを決めました

第2回定例会 6月17日~19日

第2回（6月）定例会では、補正予算議案7件、条例議案3件、専決処分議案4件、その他2件の計16件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

主な議案の要旨は次のとおりです。

一般会計補正予算 (第2号)

瀬相地区に農林水産物
直売所を建設

特定離島ふるさとおこし
推進事業費（加計呂麻島、
請島、与路島の3島が対象）
として、2億788万9千
円。

主な内容は、加計呂麻地
区にゴミ収集車（3トン車）
915万5千円、農林水産
物直売所建設（瀬相地区）
5200万円、農業用トラ
クター購入（加計呂麻地区）
1018万2千円、農道整
備（野見山地区）1300
万円、用・排水施設整備（勢
里地区）2668万4千円、
観光物産宣伝対策935万
1千円、人材育成費450
万円、定住促進対策として
202万円、環境保全対策

としてデイゴ害虫駆除（樹
幹注入）450万円、公共
用観光施設整備として与路
サンゴ石垣整備、与路サガ
リバナ遊歩道整備、集落案
内板・誘導標識設置（加計
呂麻地区）等1742万8
千円、港湾施設整備（生間、
スリ浜地区）2000万円、
道路環境整備（瀬相、実久、
池地地区）1500万円、
集会施設建設整備（徳浜地
区）2306万9千円など
です。

また、臨時福祉給付金給
付費扶助8000万円、子
育て世帯臨時特例給付金事
業費867万円、火葬場の
火葬炉取り替え改修に伴う
基本・実施設計委託料61
0万円、町文化会館（仮称）
建設整備に伴う各種委託料
等8002万円など。
総額3億8625万4千
円を追加しました。

第2回臨時会

第2回臨時会が7月15
日に開かれ工事契約議案
1件を可決しました。

油井小中学校校舎
大規模改修工事
（建築工事）請負
契約

工事内容は、油井小中
学校校舎1棟RC造り平
屋建627㎡の内・外装
全面改修を行うものです
5497万2千円で株
式会社泰江組と契約しま
した。



一般質問

第2回定例会では、8名
の議員が町政全般に亘り、
議論を交わしました。

記事については、質問議
員の責任において掲載し
ています。

なお、一般質問の詳細に
ついては町立図書館にて
「会議録」をご覧ください。



林 健二議員

議員

情報政策について

1. 公民館講座で使用され
ているパソコンの仕様につ
いて改善する考えが無いか
伺います。

2. 町ホームページの刷新に伴う現在の進捗状況と、議会のホームページの作成の必要性について町長の見解を求めます。

町長 1. 設置されていますパソコン18台は、いずれも古いもので、機種の改善が必要と認識しております。取り替えに向けて検討して参ります。

2. 町のホームページは、国の示したJ-URLに準拠した設計条件の検討と仕様書の作成を行っており、本年度中の公開を目指しております。

議会のホームページは現時点では予定しておりません。

議員 農林水産業の振興について

1. 瀬相に建設予定の直売所の進捗状況をお聞かせ下

さい。

2. 「特別水産業対策基金」設置後の活用状況についてお聞かせ下さい。

町長 1. 瀬相地区に100平米の鉄骨平屋造りを予定しており、運営協議会を立ち上げ、詳細設計はこれから着手となります。

2. 基金の活用状況につきましては、5月末現在で、設備投資3件、運転資金1件、生活資金1件、合計5件となっております。

議員 観光振興について

1. 直営へ移行された「海の駅せとつち」の運営状況と今後の方針について伺います。

2. 徳浜集落シャワー施設の雑排水は、排水処理の必要性があると感じておりますが町長の見解をお伺いします。

町長 1. 「世界自然遺産登録」や、建設中の「加計呂麻展示・体験交流館」、「新フェリーかけろま」を本町の観光振興や、一次産業振興にとって重要な施設と位置づけ、町民と観光客のニーズに対応できうるよう運営して参ります。

2. 将来的には環境面を考慮し、合併処理浄化槽の設置を検討していく考えであります。

議員 廃校跡地の利活用について

休・廃校跡地の今後の利活用についてどのような計画があるのかお尋ねします。

町長 学校法人「加計学園」が、生涯学習社会の構築に努めることを目的とした「加計呂麻島押角研修所」を設置する計画があり、現在協議を進めております。



稲田隆一郎議員

議員 防災対策について

請島・与路島の地震・津波災害に対する避難場所確保について、町当局のお考えを伺います。

町長 請島・与路島の地震・津波災害についての想定では、南海トラフ地震において浸水想定約2～3mと予測されております。

本町においては、本年度地域防災計画を策定いたしますので、その中で避難場所等については検討して参ります。

議員 農業振興について

新奄振法による小規模農

家の育成についての町当局の取組みについて伺います。

町長 営農支援センターを中心とした、新規就農者の育成や確保を行ないながら、各品目毎の栽培技術検討会等を開催し、小規模農家の育成に努めたいと考えています。

また、集落単位の地場農産物の奨励による、地産地消の推進を図り、「エコファーマ」や「かごしまの農林水産物認証制度K・G・A P」の取得拡大を推進し、安心安全な農産物の生産管理を行ない、消費者から信頼される産地づくりに努めます。

議員 環境政策について

旧焼却炉解体と同地区に対するダイオキシンによる健康管理対策は万全か伺います。

町長 旧ごみ焼却施設は、昭和51年4月から供用を開始しましたが、施設のダイオキシン類が国の排出基準値を上回ったため、平成14年12月に焼却施設の稼働を停止し、11年が経過今日に至っております。

現在、衛生センターのし尿処理施設の更新を計画していますが、旧ごみ焼却施設を解体・撤去した跡地に新しいし尿処理施設を建設したいと考えております。

また、同地区におけるダイオキシン類による健康管理対策については、平成19年にダイオキシン類の実態調査を行なった結果、環境基準値の大气中に含まれるダイオキシン類濃度の基準値を下回っており、衛生センターに勤務する職員についても平成20年度から、毎年、特定健診を受診していますが、健康上の問題は発

生しており、同地区（芦瀬地区）における町民の方達へのダイオキシン類による健康被害はないものと考えております。



鎌田愛人議員

議員 町長の政治姿勢について

先の衆議員補欠選挙、安倍総理が初来島した時に、なぜ、その場にいなかったのか伺います。

町長 その時は安倍内閣総理大臣の立場で来島したのではないという判断をした。あくまでも選挙で私的。しかも土曜日、公務がたまっていたので公務を優先した。

議員・意見 国との関係、

自民党との関係を重く見た時に、安倍総理が来た時に、その場にいるべきであった。

議員 瀬戸内町文化会館（仮称）について

事業概要を伺います

- ① 概算工事費とその財源
- ② 施設の機能
- ③ ホールの客数
- ④ 駐車場の台数
- ⑤ 整備スケジュール

町長 ① 工事費約14億円。財源は国庫補助（社会資本整備総合交付金）で補助率は経費の約4割。残りは起債を利用、起債は8割の交付税算入を見込んでいます。

- ② 基本設計完了後にお知らせできる予定。
- ③ 町全体人口の約1割の750席。
- ④ 近隣の町有地を含め50台程度。

⑤ 本年度で基本、実施設計。27年度既存施設の解体後、建物本体工事着工。28年度完成を目指しております。

議員・意見 もう少し規模を縮小し、ホールの客数を600席程度にして、音響効果を高めるなど、他の機能を充実させるべきである。

今後の箱物事業の、し尿処理センター、給食センター、阿木名小中学校体育館など、将来の維持管理、運営を見据えた施設であるべきである。

議員 子育て支援について

母子健康センター利用者が自家用車の駐車に不便をきたしているが、その対策を伺います。

町長 駐車場対策につきましては、センターに駐車スペースがなく、近くの役場

及び中央公民館駐車場の利用をお願いしております。

議員・意見 特に雨天時、役場及び中央公民館駐車場は満杯で、停められなくて困っている。

特に、中央公民館駐車場は役場職員の車でいっぱい。また、役場前は役場利用者が車を停めている。

子育て支援の観点から、文化会館ができ、母子健康センターの機能が移転するまでの間、町がセンター近隣の民間の駐車場を借りて、利用者の利便性を図るべきである。今後検討、協議していただきたい。





中村義隆議員

議員
まちづくりについて

古仁屋市街地のまちづくりに関する住民アンケート調査を実施しましたが、その中で文化会館（仮称）、公園の整備、水辺づくりでの水質浄化活動について伺います。

町長 文化会館は、座席数750でエレベーターや避難所としての間仕切りやシャワー室も設置します。物資備蓄倉庫は、今後検討して行きます。

公園の整備で、和式トイレから洋式トイレへの移行は、今後の検討課題であり

ます。

また、美しい水辺づくりで水質浄化活動は、大湊の「屋仁川」の水質や悪臭については早急に実施していきたい。

議員
交流館について

諸鈍に建設中の交流館について、貝殻を使ったアクセサリー体験コーナーは常設できないでしょうか。

町長 今、真珠養殖から排出され廃棄処分されている貝殻をアクセサリーなどに加工再利用して、新たな特産品の開発及び体験を行なっています。今後は、夜光貝も利用した体験コーナーも常設できるように検討したい。

議員
ふるさと納税について

ふるさと納税が他県では

急増していますが、本町の取り組みを伺います。

町長 4年連続で1千万円の寄付者もおりますが、近年、寄付者も少なくなってきました。他県も研究して返礼品などもバーションアップし地元特産品のPRと歳入確保に努めたい。

議員
教育行政について

4月に行なわれた全国学力テストの公表については、各市町村の教育委員会の判断で公表できるようにになりましたが委員会の判断を伺います。

教育長 全国学力テストの結果公表については、基本的に公表しない方針であります。本町は小規模校が多く、受験した児童・生徒（小6・中3）が特定されやす

い状況にあります。

また、結果についても児童・生徒が特定されてしまう可能性があるため、学校毎などの公表については、控えるべきと考えております。



元井直志議員

議員
教員の通勤状況について

基本的に地元に住んでもらうことが必要だと考えるが、現況はどうなっているか。通勤せざるを得ない原因は何か、住宅の不足かその他の要因かを質問します。

教育長 教職員の校区内居住現況については、小学校で79名の職員に対し52名

（65・8％）、中学校で59名の職員に対し33名（55・9％）となっております。

自宅からの通勤や共働きの関係等で住居が他市町村となっている教職員がおり、校区外通勤となっているというのが主な要因であります。校区内に入居可能な教員住宅がない場合には、近隣の教員住宅への入居を斡旋して対応しているところがあります。

議員
伝統的工芸の育成について

大島紬の伝承についての町当局の方向性と、町は例外なしに年次的に予算を一律力ツトの方向で調整しているが、残すべき伝統的工芸についても、そのような質問します。

町長 瀬戸内町大島紬織工養成所を紬組合に運営委託

することにより、伝統的工芸の伝承に配慮しながら、今後もサポートをしていく考えであります。

団体等への補助交付金については、事業内容や経営状況を評価し、公益性や町の活性化への配慮もしながら所要額を交付しています。

議員 阿木名小中学校の体育館改築について

これからの体育館改築について町当局の考え方、方向性等について質問します。

教育長 平成28年度の学校施設整備の主要事業として、阿木名小中学校屋内運動場改築工事を計画しております。

平成26年度においては、耐力度調査業務委託料を予算計上し、事業実施に向けて準備しているところであります。



向野 忍 議員

議員 町長の政治姿勢について

先の衆議院補欠選挙の意義を町長としてどの様に捉え、そして行動したのか伺います。

町長 厳しい選挙戦を地元出身の金子万寿夫氏が見事当選を果たしました。地元奄美・瀬戸内町にとりましては、大変意義深い補欠選挙と捉えています。

4月5日、農協会館で行われた自民党時局講演会において、金子万寿夫先生の補欠選挙区でのご当選を願うご挨拶を申し上げます。

議員 安倍総理、石破自民

党幹事長の来島、街頭演説会に町長が参加されるものと期待していました。欠席されたが。

町長 石破幹事長の時は、3月に自民党本部事務総長より連絡があり、安倍内閣総理大臣名で案内を受けたので東京での「桜を見る会」に公務として出席しました。

選挙は個人で私的であると思っております。

議員・意見 町長は選挙で選ばれた公人であります。

町民は常に町長の行動を町の代表として、私的ではなく公人として見ています。

町長 安倍総理の時は、役場にて伝票や文書の決裁、翌日の公民館開講式、与路サンゴの石垣の景観づくり受賞祝賀会の準備等をして

いました。

議員・意見 政権与党、時のトップの安倍総理が来られた。常識的判断をして、町長として、公人としての判断をして参加すべきではなかったのか。

町長としての行動の判断基準を伺います。

町長 公務優先。これだけです。

議員 衆議院補欠選挙後の政治に期待するものは何であるか伺います。

町長 本町の喫緊の課題である自衛隊誘致拡充、世界自然遺産センター誘致、さらには、奄振交付金等の重要事項並びに本町の長期振興計画にある文化ホール、し尿処理施設、給食センター等大規模施設整備の実施

について国並びに県との連携が必要でありますので、金子万寿夫代議士のご指導を賜りながら、その実現に向け取り組んで参りたい。

議員 自衛隊の誘致及び拡充について

先月、陸・海・空自衛隊員約1300人による離島奪還統合訓練が本町の江仁屋離島で行われた。時を同じく武田防衛副大臣が来町され町長と意見交換された。「自衛隊配備、瀬戸内町最有力か」と報道されたが、町長としての手ごたえ、見解を伺います。

町長 武田防衛副大臣が2月と5月に2回、6月7日には小野寺防衛大臣が来町するなど、かなり良い方向に進んでいるものと感じております。



岡田弘通議員

議員 国土強靱化基本計画、地域計画について

国土強靱化基本計画は、本年5月に閣議決定した。閣議決定を受け実施段階と進みつつあるが、この計画についての評価し、今後本町は、どのように取り組もうと考えているのかお伺いします。

町長 国土強靱化基本計画においては、「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する」と示されており、本町においても防災・生活安全対策の充実を図るうえで「安心・安全で快適に暮らせる

循環型のまちづくり」を目指しており高く評価するものであります。

本町は、平成26年度に地域防災計画を策定中であり、この「国土強靱化地域計画」は、町の「防災計画」「長期振興計画」、建設課等が取り組んでおります様々な「長寿命化計画」の上位計画となっております、平成26年6月3日内閣官房国土強靱化推進室から「国土強靱化地域化計画策定ガイドライン」が示されたところでありますので、今年度策定する町地域防災計画も含め県と協議し検討して参ります。

議員 町長の政治姿勢について

本町の喫緊の課題である自衛隊の誘致拡充と世界自然遺産登録地の拠点施設の誘致、更には奄振事業の交付金化等重要時期である。

幸いにして、地元の金子代議士が誕生しましたので本町にとっては、これらの施策の実現に向けては絶好の機会である。今後国・県との連携充実をどのように図っていくかと考えているのか伺います。

町長 2年後の2016年夏の世界自然遺産登録を見据えた本町への世界自然遺産センターの誘致、さらには、本年度から実施される奄振交付金等への対応並びに本町の長期振興計画にある文化ホール、し尿処理施設、給食センター等大規模施設整備の実施について国並びに県との連携が必要でありますので、金子代議士のご指導を賜りながら、その実現に向け取り組んで参りたいと思っております。

自衛隊の誘致拡充については、候補地決定の最終局面を迎えております。去る6月7日には、小野寺防衛大臣も来町され面談を行ないました。その際にも金子先生には地元出身代議士として同席していただいております。今後、候補地として決定された際には、地元、そして国・県との連携が必要でありますので、今後とも金子先生と連携して取り組んで参りたいと思っております。

議員 去る4月には、自民党の安倍総理、石破幹事長、公明党北側副代表が来島、来町されましたが、この時の町長の政務等について伺います。

町長 4月12日に石破幹事長が来町された時には、東京において「安倍総理と桜を見る会」にご招待を受け出席しております。安倍総裁が来島された4

月19日は、役場において午前に支出伝票や文書の決裁、午後からは翌日開催されます公民館開講式や与路公民館で開催される与路島のサングの石垣の景観づくり部門での「かごしま・人・まち・デザイン大賞」受賞祝賀会や翌々日の町嘱託員会の説明内容の確認等を行っております。夕方からは、大島地区消防操法大会の選手役員との激励会に参加しております。

議員 自衛隊の事について

西部方面隊を中心に陸・海空三部隊による離島奪還訓練が江仁屋離島であります



渡島芳臣議員

たが、本町にもたらした経済効果及び自衛隊誘致の動きはどのようなものか、誘致による本町にもたらす有利性について伺います。

町長 国内初の総数1330人による統合訓練が5日間実施されており。統合訓練後2日間1330人の隊員が市街地に上陸してありますが、経済効果は約3千万円と試算しております。誘致については、これまでも自衛隊誘致推進協議会の要望活動を受け武田防衛副大臣が2回、6月には小野寺防衛大臣が来町するなど、かなり良い方向に進んでいるものと感じております。本町にもたらす有利性については、部隊誘致による、施設整備及び周辺地区の環境整備、人口の増加に伴う経済効果、災害への迅速な対応等が上げられます。

議員 観光振興について

せとうち海の駅と加計呂麻島展示・体験交流館を利用した観光事業を進めて行くということですが、具体的に観光コース、体験メニュー等の内容を伺います。

町長 観光コースとしては島案内育成講座において実績のある17地区を選定コースとしており、体験メニューについては本町のパンフレットやあまみシマ博覧会に掲載されている体験プログラムを推奨していく考えであります。

議員 特定離島ふるさとおこし推進事業で、今年からシニア世代をターゲットにした島旅プロモーション事業の内容を伺います。

町長 島旅プロモーション事業の内容としましては、加計呂麻島でのモニターツアーと福岡圏内において加計呂麻島の観光PRや物産展、島の写真展などのイベントの開催を予定しております。

ゆとりあるシニア層へ魅力ある観光を提供することは、長期滞在やリピーターの増加を図る上で重要であると考えており、モニターツアーを通して今後の観光振興に役立てていきたいと考えております。

議員 水産業の振興について

低迷している漁業関係者育成の観点から、水産業関係の燃料や漁具・鮮魚購買のみで使用できる、水産業版プレミアム商品券の発行助成は出来ないものか伺います。

町長 厳しい漁業環境のなかでの水産業打開策の一環としての水産業版プレミアム商品券のご提言だと考えます。現在の商工会のプレミアム商品券との関係もありますので、関連団体等と協議し検討して参ります。

議員 要望書等の処理について

各集落、町民からの要望等は、どのような手順で進めているのか、執行までの処理方法をお尋ねします。

町長 要望等の取扱いについては、企画課で受付を行い、町長決裁後、担当主管課へ送付します。主管課では、要望等の内容を精査し、町長協議を経て執行出来るものから実施することになっております。町民からの要望につきましては、誠意をもって取組んで参ります。

編集後記

◆改正奄振法のもと、新しい奄美の振興策が、成長戦略ビジョンを基本として進められようとしています。

条件不利性の解消が期待されるなか、産業振興に繋げる事が出来るか、私たち議会の責任も大きくなって参ります。

◆これまで継続してきた陸上自衛隊の基地誘致活動が実を結びことができ、世界自然遺産登録やフェリーかけろまの国庫補助化など本町振興の環境は整いつつあります。

◆開かれた議会を目指し、全町民の集合知によって、本町発展・奄美群島の振興に繋げなければなりません。

◆暑い日が続きますが、共に頑張ってくださいませよう。

(林)